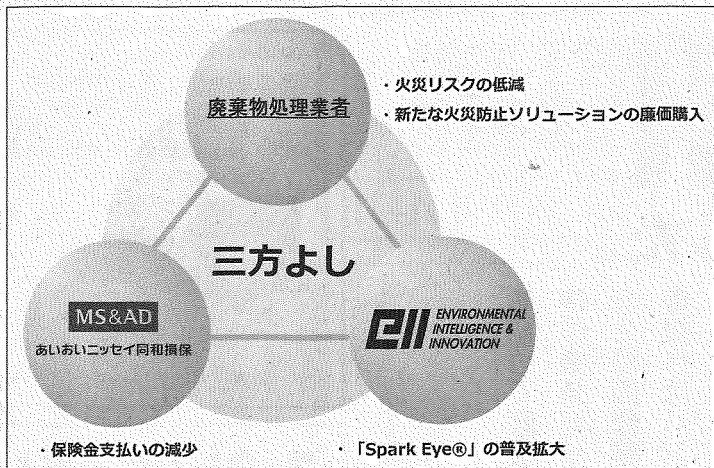
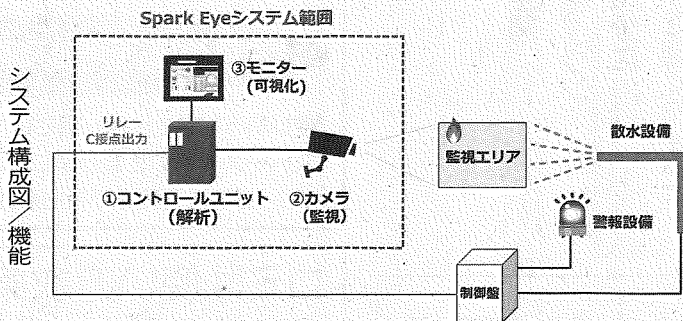




三方よしを実現する



システム構成図／機能

2020年6月以降、民間・自治体の廃棄物処理施設を対象に導入実績があり、導入先では火災延焼ゼロといった実績を得ている。経済産業省のIT導入補助金2023の支援ツールにも認定されている。

火災被害の解決に向け協業

新たなソリューションを提供

イーアイアイ／あいおいニッセイ同和損害保険

イーアイアイ（東京・千代田、胡浩社長、☎03・3518・9797）とあいおいニッセイ同和損害保険（東京・渋谷、新納啓介社長）は今年1月、廃棄物処理施設における火災被害の問題解決に向けて協業を開始した。イーアイアイが開発した火災延焼を防止するAI火花検知システム「Spark Eye」の廃棄物処理施設への導入促進を共同で取り組む。

協業内容は、あいおいニッセイ同和損害保険の代理店が、廃棄物処理業の契約者等に対してSpark Eyeの導入促進を行う。導入先の廃棄物処理業者としては、火災リスクの低減につながり、優待価格で購入できるメリットがあり、あいおいニッセイ同和損害保険としては火災

- AI画像認識技術 特許出願中
- ① 火花・火を0.05秒で検出
 - ② 警報・散水の制御信号出力
 - ③ 可視化システム
 - ④ 検知実績DB構築
 - ⑤ 現場に応じた感度調整（9段階）

製品紹介動画 (YouTube)



保険金の支払対象となる事故を減らすことができる。イーアイアイとしては優待価格を設けた販売を通じて普及拡大に結び付くといった「三方よし」を実現することが可能となる。Spark Eyeは、画像認識AIの技術によりカメラ映像から火花・火を自動検知（0・05秒）し、アラート発報（自動散水連携可）することで火災延焼を防止する。カメラ映像で検知できるため、ガラスやアクリル越しの設置も可能になり、火災リスクの高い破碎機への設置もでき、検知データ（検知画像、日時、検知開始時間、終了時間等）の可視化も可能になる。